

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	【理念】①皆様の立場にたち、考え、話し合いを持ち、大切な家族の一員であることをお約束します。②私たちは誠意を持って行動し、努力することをお約束します。③地域・家族・あらゆる関係機関の協力を頂き、皆様のいつまでも安心できる住まいであることをお約束します。	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎年、法人理念やGH理念についての勉強会を実施し、考える機会を設けています。自身の行動を理念と照らし合わせ、深く考えながら活躍できる職員の育成を年間を通しての目標としています。	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	開設6年目となり、私たちのグループホームもやっと地域の中で認めて頂けるまでになったのでは?と考えています。相談や見学の方々の来苑や、外出先での地域の方々との交流が私たち職員の励みとなり、その地域の期待に応えるべく、気の引き締まる思いで日々努めさせて頂いています。	
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩や外出の機会を通して地域の方々との交流を心がけています。人と人との交流はまず、心のこもった挨拶から…と考えていますので、深い付き合い成らずとも、気持ちよく挨拶を交わせる環境にあり、それを大変有り難く思っています。	
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	大型の併設型グループホームですので、気軽に立ち寄って頂ける環境ではないと思います。しかし、地域のお祭りや行事に参加させて頂いたり、地域ボランティアの方々の出入りは多く、とても活気のある交流をさせて頂いています。	○ 今後も努力を重ね、関係を発展させていきたいと考えています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域中学生の職業体験学習の場として協力させて頂いています。介護の現場で楽しく学び、興味をさらに深めてもらえたらと考えています。私たち職員も、中学生の方々のコミュニケーション能力の高さや柔軟性のある対応に、多くのことを学ばせてもらっています。		
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	この評価が有意義な機会となっていることは、現場の職員が一番理解していると思っています。閉塞し勝ちな考え方を、客観的に見つめなおし、具体的に日々のケアに反映させることが根付いてきていますので、管理者も現場主導型の現在の方法に理解を示しています。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、ご家族・地域・行政の考え方をダイレクトに知ることができ、また、施設側の考えや依頼事項などもその思いまで伝えることができていますので、大変意義の深い会となりました。	○	これからも参加メンバーの方々との関係や、運営推進会議の内容を、時間をかけてじっくりと醸成していけたらと考えています。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村職員とは、日頃より相談したり情報交換等を通し、意識して交流するようにしています。不明な点を放置せず、確認しながら運営を進めていくことで、事業の適正な運営につなげています。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	職員は研修を通して学ぶ機会を得ています。	○	今後も勉強を重ねていく必要性が当事業所にはあると考えています。定期的な研修の機会を持っていく計画としています。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	今年度は人権研修として、看護協会から講師を招き、虐待及び身体拘束について学ぶ機会を得ました。虐待の問題は、それに関わる人間の意識の低さも問題となっています。介護職として、意識を高く持ち、虐待について、より敏感になっていきたいと思っています。	○	今後も勉強を重ねていく必要性が当事業所にはあると考えています。定期的な研修の機会を持っていく計画としています。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	○	<p>現在のところ、苦情などの大きな問題なく運営させて頂いています。今後もこの現状を良しとするのではなく、ご家族やご利用者の気持ちを推し量った誠意のあるサービスの提供を心がけていきたいと思っています。</p>
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>		
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		<p>現在のところ、苦情などの大きな問題なく運営させて頂いています。今後もこの現状を良しとするのではなく、ご家族やご利用者の気持ちを推し量った誠意のあるサービスの提供を心がけていきたいと思っています。</p>
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>		
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	私たちの職場は、職員が元気で個性的、且つ離職が少ないことが自慢の一つです。それを守るために、管理者には無理を言ったり意見することもあります。最終的には現場の意見を尊重してもらっています。互いの努力が最終的に、ご利用者にとって利益に繋がると考えていますので、今後も運営者との連携をより一層深めていきたいです。。		
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	グループホーム会議では主にケース会議を、また、併設老健とは勉強会を共同開催し、時間の制約もありますが、毎月2回は資質向上に向けた取り組みを実施しています。		
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域のグループホームとは、ケース検討会や講師を招いた勉強会を実施し、互いに市内の事業所が刺激しあえるような取り組みを実施しており、定期的に参加しています。		今後もより密度の濃い勉強会や、連携に向けた取り組みを行っていききたいと考えています。
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	休憩時間の確保は、職員のストレスの軽減及び身体的な負担の軽減を目的として、当たり前ですが確実に取れるようにしています。また、個人の事情や働けるスタイルに合わせた柔軟な勤務表の作成に努めています。		
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員個人の能力に合わせ、常勤・非常勤職員に関わらず、出来る限りの権限委譲を行っています。やり甲斐のある仕事をしてもらうためにも、個人の能力を見極め、少しずつ成功体験を積み重ねることで、仕事に対する自信に繋げていってもらえることを願っています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	出来る限り初期の時点で問題点や不安点を明確にするところから始めています。過去の経験から学んだ予測されることに対し、予め対策を検討し、ご家族に協力頂くべきところと職員での対応が可能なところを確認し合い、ご家族やご本人に少しでも負担や心配の少ない生活となるように努力しています。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	出来る限り初期の時点で問題点や不安点を明確にするところから始めています。過去の経験から学んだ予測されることに対し、予め対策を検討し、ご家族に協力頂くべきところと職員での対応が可能なところを確認し合い、ご家族やご本人に少しでも負担や心配の少ない生活となるように努力しています。	
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	グループホームの入所相談に関わらず、当法人の持つ多機能性を考慮した、ケース毎の情報を提供しています。ご家族、ご本人の思いに一番寄り添えるサービスの紹介を心がけています。	
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	グループホームに移り住まれる時は、ご本人やご家族の思いを良く伺ったうえで、様々なスタイルのサービス開始となるような用意があります。通いやお試し利用、ご家族との宿泊など、出来る限り、ニーズにお応えするよう努めています。	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	ご利用者とは、互いに助け合いながら生活を共にしています。認知症が重度となり、意思疎通がままならないご利用者でも、長年の関わりの中で、心通うものがあり、励まされるばかりの日々です。同じ人間同士、老いも若きも、一緒に精一杯『生きて』います。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	私たちはご家族の思いや考え、今までの苦悩などをたくさん聴かせて頂く機会があります。楽しかったこと、辛かったことなど、エピソードは尽きませんが、全てに共通することは、どのご家族も真剣にそれらと向き合ってきたということです。その思いを私たちが引き継ぎ、絶対に踏みにじってはいけなと考えています。まさに、身の引き締まる思いです。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	今までの経験の中で、様々なスタイルの家族のかたちを勉強させて頂きました。決して型にはめて考えるのではなく、これからは各ご家庭の事情に合わせ、柔軟な対応を心がけていきたいと思っています。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	私たち職員が努力するまでもなく、馴染みの人や場所との継続した関わりを、ご家族がとても大事にされていて、支援されています。ご家族のご面会が多いことから、それを伺い知ることができると思っています。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	気の合う利用者同士との交流を深め、かつ、個人の関わりが閉鎖的にならないような支援を心がけています。		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	契約が終了したご利用者のご家族でも、交流させて頂いています。ボランティアを紹介下さったり、運営推進会議に参加して下さいと、運営にも協力頂ける心強い方々とのお付き合いに励まされることも多いです。	○	今後もこの関係を維持、発展させていきたいと考えています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご利用者の思い、ご家族の考えをととても大事に思っています。普段の会話の中からそれらを知り、出来る限りの範囲で日々の支援に反映させて頂いています。	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人の生活歴や暮らしてきた環境などの情報は、可能な限り事前に伺うように努めています。サービスが始まってから知る情報と合わせ、個人の過去の生活を想像し、ご家族やご利用者おひとりお一人の生活に彩を添えることが出来るような支援を目指しています。	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	カラオケに行かれる方やデイに参加される方、静養や離床をバランス良く取る必要のある方など、日々の過ごし方は様々です。ささやかな毎日ですが、職員間でよく話し合いを行い、その生活を守るために努力しています。	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご本人の意見やご家族の思いを大切にプランの作成と、ケアの実践に努めています。ご家族が計画書を見て嬉しくなるようなプランの作成を目指しています。	○ これからも勉強を重ね、ご利用者主体の生きたプランの作成を目指したいです。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	プランには無理が生じないように、現実に対応した作成に努めています。日々の生活の中からアイデアを出し合い、プランの見直しや計画の変更を行っています。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録には生活の中で起こったエピソードを全て記載するようにしています。職員の主観をたくさん集め、その中から客観性を見出し、意見を統一させたプラン立案に努めています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	グループホームの中で全て解決するのではなく、当法人が持つ多機能性を活かし、ケース検討会や上司にスーパーバイズを受けつつ、視野や見聞を広め、支援の幅を広げる努力をしています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	開設以来、たくさんのボランティアの方々の協力があります。盆踊りやアクセサリーづくり、お化粧など、多くのボランティアの方々から協力を得たり、地域の文化祭や活動にも参加させて頂く機会があります。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	サービスの提供が誤った方向に進まないよう、他のケアマネジャーに意見を求めたり、各関係機関の連絡や相談を適宜行っています。情報を交換することで新しい知識を得、ご利用者への支援に反映させています。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	今年度も、人権や虐待問題などについて、外部から講師を招き、勉強する機会を得ました。	○	今後も勉強を重ね、この問題に対してしっかりと考えていきたいと思っています。まだまだ勉強すべき課題が多いと考えます。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	<p>私たちは、当事業所の『出来ること・出来ないこと』を主治医を含め十分に話し合った上で、現在の段階での看取りの介護の実践には至っていません。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居 所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケ ア関係者間で十分な話し合いや情報交換を 行い、住み替えによるダメージを防ぐこと に努めている	グループホームを退所され、別の居所へ移り住む 場合は、その事業所との綿密な連携を図り、ご利用 者やご家族に極力ご負担をかけないように努力し ています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1) 一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ね るような言葉かけや対応、記録等の個人情 報の取り扱いをしていない	ご面会のご家族や見学のかた、有り難いことにた くさんの外部の方々との関わりを持たせて頂いて います。どなたに来て頂いても恥ずかしくないよ うな、また、ご利用者に失礼のない支援に努めて います。	○	まだまだ発展途上の面がたくさんあります。現状 に溺れることなく、常に過去を振り返り、反省す ることで今後、より一層、ご利用者やご家族に喜 んで頂けるような運営に努めていきたいと考えて います。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きか けたり、わかる力に合わせた説明を行い、 自分で決めたり納得しながら暮らせるよ うに支援をしている	私たち職員は、ご家族に負けなくらい、ご利用 者お一人おひとりの有する力を信じて支援させ て頂いています。	○	まだまだ発展途上の面がたくさんあります。現状 に溺れることなく、常に過去を振り返り、反省す ることで今後、より一層、ご利用者やご家族に喜 んで頂けるような運営に努めていきたいと考えて います。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのでは なく、一人ひとりのペースを大切にし、そ の日をどのように過ごしたいか、希望に そって支援している	出来る限り、ご利用者の気分やペースに添った、 画一的な対応とならないような支援を行っていま す。	○	職員の勤務体制の都合や急な出来事により、ご利用 者の方々に窮屈な思いをさせてしまっている面 があります。改善に向け、努力していきたいと考 えています。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれがで きるように支援し、理容・美容は本人の望む 店に行けるように努めている	身体状況により、ご利用者全員が訪問理美容サー ビスを利用されています。スタイルは個人やご家族の要望 を伺い、継続したスタイルを維持できるよう、支援し ています。身だしなみについては、ご家族が支援され ていますが、ご希望があれば高島屋やスーパーへ買い 物に行き、好みのものを購入されています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	<p>健康は食事からをモットーに、食べたいものを美味しく、かつ安全に提供できるよう努力しています。調味料や食材にも配慮しています。食事準備や片付けは、ご利用者の出来る力に合わせて分担があり、賑やかに(時には喧嘩もしつつ)食事の時間を楽しんでいます。</p>		
55	<p>個人の好む飲み物やおやつ、嗜好品を把握していますので、お茶の時間やその他、ご希望があった際に提供しています。前年から引き続いて、焼き芋ブーム、継続中です。</p>		
56	<p>水分摂取量や個人の尿量に合わせ、臨機応変な支援を行っています。排泄用具は尿量に合わせて見直しをし、ご本人にとってベストな排泄用具の選定に努めています。</p>		
57	<p>入浴は365日毎日実施しています。気の向いたときや、排泄で汚れてしまった時など、その日の状況に合わせて入浴して頂けるようにしています。好みの湯温を把握していますので、こまめに調節し、負担の少ない入浴となるよう、心がけています。</p>	○	<p>職員の都合にご利用者が合わせて下さっていることもあるため、無理なく安全に気持ちよく入浴して頂けるための方法を今後も検討していきたいと思っています。</p>
58	<p>ご利用者個人の状況に合わせ、年齢や今までの生活スタイルを加味しながら離床・臥床・活動のバランスを図り、身体機能の維持に努めています。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>カラオケ・大人の塗り絵・デイ・編み物・お部屋でテレビ鑑賞・散歩などなど、入所後、ご利用者個人で築かれてきた生活を維持されています。ご高齢となり、認知症が進行されていても、ひとりのお部屋でジュースを飲みつつテレビ鑑賞されている姿を見ると、支援を続けていて良かったと心から思われます。</p>	○	<p>職員の自己満足になっていないか、常に考えながら日々の生活を支援していきたいと考えています。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族了解のもと、個人で金銭管理をされている利用者がおられます。スーパーや売店でのご買い物などに活用されています。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物や散歩は日常的に出かけています。最近は季節柄寒い気候ですが、日光浴をしたりする機会を設け、体内リズムを整える努力をしています。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	外食・買い物の支援は日常的に実施しています。遠方や身内に会いたいなど、施設側での支援が難しい場合は、ご家族にその思いを伝え、協力をお願いしていますし、ご家族もその思いを理解し、支援して下さっています。	○	認知症が重度となり、ご自身の意思や感情を伝えることが出来ないご利用者に対する支援は、大きな課題のひとつと考えています。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話や手紙の支援を日常的に行っています。ご利用者の中には、電話を利用される方も多く、また、季節の挨拶などは手紙でやり取りされています。このスタイルを今後も継続して支援していきたいと思っています。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	ご家族やその他ご友人などには、いつでも気兼ねなく来苑して頂きたいと願っています。職員はご家族やご友人の代わりにすることが出来ません。ご本人を囲む支援の輪が広がることで、生活自体が華やいだものになれば嬉しいです。私たちは、ご利用者個人に関わる全ての方々を大切にしたいと考えています。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束については、定期的に勉強会を実施しています。また、定期的に虐待に関するアンケートを実施し、個人の問題の捉え方や考えを把握するようにし、指導しています。	○	今後も勉強を重ね、この問題に対してしっかりと考えていきたいと思っています。まだまだ勉強すべき課題が多いと考えます。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>	○	<p>事故やひやりはっとの経験を次に活かすことがいかに重要か、まだまだ認識を高めたり、気付きの訓練が私達の事業所では必要であると思います。</p>
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>		
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	○	<p>緊急時対応は、やはりその現場を経験し、自身に何が出来るのか、また、何が出来たのかを振り返り、反省を重ねていくことがとても重要であると考えています。今後も現場第一に訓練を重ねていきたいと考えています。</p>
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	○	<p>緊急時対応は、やはりその現場を経験し、自身に何が出来るのか、また、何が出来たのかを振り返り、反省を重ねていくことがとても重要であると考えています。今後も現場第一に訓練を重ねていきたいと考えています。</p>
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	○	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	ご本人のその時々で状況で想定し得るリスクをお伝えし、対応策をご家族と一緒に検討しています。施設側の意見を押し付けるのではなく、ご家族やご本人の不安を解消し、かつ心配の少ない生活となるよう、精一杯努めています。	○	ご家族には考え得るリスクの説明をさせて頂いていますが、やはりまだまだ対応の不備はあると思います。説明と同意の積み重ねで、ご家族やご利用者の期待を裏切ることのないよう、今後も努力していきたい部分です。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	職員の主観をたくさん集め、ご利用者の変化に気付くことができるよう、努めています。取るに足りない事柄でも『あれ?』と感じたら、ご家族や主治医に相談するようにしています。	○	職員側の気の緩みが大きな異常を見逃してしまうことがないように、気付きを大切に出来る人材の育成に努力していきたいと考えています。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋を確認したり、主治医に確認しています。また、主治医は予め予測されるリスクや副作用について、また、対応策も予め指示されます。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘については、主治医・栄養士との連携や健康食品の活用で、お薬に頼り過ぎない方法を検討し、実践しています。適度な運動やホットパックなども取り入れ、柔軟な支援に努めています。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	定期的なバラン交換やポリデントの活用、また、地域歯科医による検診など、口腔ケアに力を入れています。歯科医とは気軽に相談できるお付き合いをさせて頂いており、また、往診も迅速に対応して下さいます。		
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日の摂取カロリーを把握し、嗜好品やおやつとの状況をさりげなく調整しています。また、水分は少量をこまめに摂って頂くことで負担の少ない吸収を促し、日々の健康に活かしています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染症マニュアルに則り、感染症対策を実施しています。	○	季節柄、現在は感染対策を実施しています。ご利用者に負担を掛けず、さりげなく、しかし確実に実行していき、感染症の予防に最大限の努力していきます。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食品の買いだめや作り置きをしないのはもちろんのこと、調理器具や食器の消毒なども毎日実施しています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関やベランダは、職員や利用者が楽しみながら季節の植物を植える場となっています。ご利用者に馴染みの深い植物を出来るだけ多く使用し、また、水やりや鑑賞がし易いように配慮しています。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	あまり整頓されていない環境ではありますが、汚すぎず、美しすぎずをモットーに、ご利用者にとって馴染みのある物を多く配置するように心がけています。。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間でも他者と少し距離をおけるスペースを確保し、居心地のよい空間となるよう、努力しています。ご利用者個々にその空間を活用されていて、思い思いに過ごされています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	ご家族やご利用者個人の思いがたくさん詰まった 素敵なお部屋が多いです。長年生活されているご 利用者が多いので、生活し易い工夫やご家族のメン テナンスにより、各お部屋ごとに全く違った雰 囲気があります。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	換気や湿度、室温の適正化に努めています。季節 柄、感染症や風邪の心配もあるので、徹底して 行っています。	○	季節柄、現在は感染対策を実施しています。ご利用 者に負担を掛けず、さりげなく、しかし確実に 実行していきます。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活 かして、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	大型施設のため、機能的な構造となっており、設 備面での大きな心配はありませんが、個人の生活 スタイルや持っている力に応じた家具や家電、補 助具の配置を行っています。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	個人の生活スタイルや持っている力、その時々 の状況に応じた環境整備に努めています。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	ご利用者は日光浴をしたり犬の散歩(飼い犬のマ ロ)をさせたりと、毎日活用されています。		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

困難があっても、ご利用者・ご家族・職員で悩み、考えて乗り越えてきました。
れからも、たとえ平凡な毎日であっても、小さな幸せに喜び合える日々を精一杯守っていきたいと思っています。

こ